

群落名 チガヤ草地



ススキ草地と同じ様に、人が手を加えた土地によく見られます。なかでも、埋め立て地、堤防にたくさん見られます。関川の上流から中流の、川のそばの堤防の近くで、草の刈り取られているところに、よく見られます。

種名 ハンノキ



北海道から琉球に、広く分布しています。水の暖かい低地に見られる落葉樹です。果実は、秋に黒みをおびた茶色に熟し、葉が落ちた後も残っています。川のそばの、湿ったところに見られます。

群落名 ヨモギ草地



道ばたや、空き地によく見られる代表的な草地です。また、荒れてまもないところにも、よく見られます。おもに、河原につくられたグラウンドやそのまわりの、川の工事が行われているところに、まとまって見られます。

種名 ニセアカシア



街路樹や庭木にうえられる落葉樹で、高さは15mにもなります。北アメリカ原産で、世界各地に植えられています。日本でも、砂防工事の後の緑化のために植えられ、各地で野生化したものが、見られます。関川の上流から下流まで、いくつも見られます。

種名 カワヤナギ



北海道から九州に分布しています。川や水田の水のそばに、ふつうに見られる木です。木の皮は薄く、やや茶色がかった灰色で、古くなると、荒く縦に割れ目ができます。川のそばの湿めったところ、水ぎわに広く見られます。ほかのヤナギ類（タチヤナギ、イヌコリヤナギ）も、同じようなところに見られます。

種名 ケナシヤブデマリ



本州北から中部の日本海側に分布しています。高さ2～4mの小さな木で、5～6月に花をつけます。果実は8月に熟し、はじめは赤く、のちに黒くなります。関川の上流から中流の川のそばに、又の低い木といっしょに生えています。特に、櫛池川が合流するところの右岸側に、まとまって生えているのが見られます。